

ニュースレター No.25

発行：2002年12月

入間・樹林の会/野川・里山探検隊合同イベント!

11月17日(日)に、入間・樹林の会が毎月活動場所としている「入間町1丁目の崖線樹林地」及び入間地域福祉センターにて、樹林地の観察やドングリ拾い、ドングリ工作を行いました。当日の参加者は、こども22名、その親23名、野川・里山探検隊サポーター5名、入間・樹林の会10名、当日の講師の小池さんと全員で60名程度の規模になりました。

今回のイベントは、入間・樹林の会と野川里山探検隊(こども対象自然体験事業)の初の合同企画の試みで、こどもたちにドングリ工作を通じて自然と親しんで欲しいね!というものでした。入間・樹林の会、野川・里山探検隊の今回の企画を立てた側は「こどもたちやその親たちに、入間町にこんな林が残っているところもある、その樹林を保全していこうという活動をしている人もいるということを知ってほしい」という思いから、このようなイベントを現実に行うことができました。関係者のみなさんご協力ありがとうございました。こどもたちも楽しんでくれたようです!



ドングリ工作で...

マデバシイのドングリで、やじろべいを作って鼻の上に乗せて遊びました。クヌギのドングリで、こまを作りました。色も塗って個性を出しました。薄く切った木に絵を塗って、ペンダントを作りました。その他色々個性豊かな工作物ができました。もしかしたらお母さん、お父さん、入間・樹林の会のメンバーの方がこどもよりも夢中!?



関係者の感想...

- 多くの人に、入間・樹林の会の活動や現地を知ってもらえる良い機会になって良かった。
- こどもたちと活動できて楽しかった。
- これからも合同事業を年に一回程度開催したい... などなど

●ちょうふの自然

先日、ガイドウォークの下見に出かけて、「私の気になる木」を見つけた「豆柿」の木。それは野川の傍、道の脇にあった。私も何度も通っている所なのに、今まで全然気づかなかったその木は見上げるほどに高く、広がる枝には1cm位の実がいっぱい付いていた。地面に落ちている小さな柿の実を食べると、干し柿の味がした。「豆柿」というかわいい名前前のこの木だが、道路拡張で切られるかもしれないとのこと。深大寺周辺は崖線も残り屋敷林もあり緑豊かと言われているが、これとていつ消滅してしまうか分からない。もっと多くの人々が周りの緑や自然に目を向けて、関心を持っていくことが緑の保全に繋がると信じて私の「気になる木」探しを続けなくてはと思った。(環境モニター 杉山)

今月の活動報告

- 入間・樹林の会/野川・里山探検隊合同イベント
- 雑木林塾
- こどもエコクラブ
- 調布市環境モニター (ガイドウォーク)
- ちょうふ DE 田んぼ日記

子どもエコクラブ活動報告

11月2日(土)「多摩川の野鳥と植物観察会」

「野鳥と自然調べ隊」と「葉っぱ調べ隊」合同で、多摩川の野鳥観察会を行いました。しっぽを上下に忙しい「セグロセキレイ」、川の中にもぐってえさを取る「カイツブリ」「コサギ」「ダイサギ」や海にいるはずの「ユリカモメ」などを観察しながら下流の二ヶ領上河原堰までくると、なんと頭上の電線には「カワウ」の大群が留っていました。みなさんもぜひ「カワウ」に会いにいってみてはいかがでしょうか。

かわう



どんぐり林公園でのイベント報告

11月9日(土)富士見町のどんぐり林公園で、富士見町地区協議会主催のイベントが開かれました。どんぐり林の周囲のまち歩きや、子どもたちは葉っぱ探しゲームをしたり、巣箱づくりやどんぐりを使ってウサギやシカ、コケシやコマなどの工作をしたりしました。地区協議会では焼き芋や豚汁などを用意しており、冷えた体が暖まったところで終了。参加した大人も子どももたいへん盛り上がったひとときでした。



環境モニターガイドウォークの報告

11月10日(日)に、佐須と深大寺付近を歩く、樹木観察を中心としたガイドウォークを実施しました。参加者6名、環境モニターを含めたスタッフ7名の計13名で2時間半程度、調布に残っている樹木を見てまわりました。今回のコースには緑が多くありました。みなさんも歩いてみてはいかがでしょうか？

～当日のコース～

①野川の御塔坂児童遊園集合～②御塔坂橋北側の民家で、「豆柿」「プラタナス」などを発見！～③崖線を東に進み、民家の大王松を外から見学～④池上院の六角地蔵と湧水の池を見学～⑤佐須にある「蔵」を外から見学～⑥虎狛神社でクロマツの切り株やイヌシデなどを見学～⑦わらぶき屋根の民家で禅寺丸柿を見学～⑧祇園寺では板垣退助の植えたアカマツと、ムクロジを見学～⑨かに山方面へ歩く～⑩高速道路の上を渡り、カゴノキがある民家で昔の調布の様子のお話しをしていただいた～⑪ヒイラギの木の見学～⑫解散



ちょうふ DE 田んぼ日記その19 「収穫後の作業、まずは脱穀から！」

稲刈りが終わり一息ついたらもう木枯らしの季節の到来。短い秋を偲びつつ11月4日に脱穀作業を行いました。まずは足踏み式の脱穀機と唐箕(とうみ)による昔の作業の体験です。

稲穂を籾と藁に分けるミノル式脱穀機は、踏み方を違えると逆回転するし、稲を持つ力が弱いと機械の中に巻き込まれたり。藁の混じった籾は唐箕で選別。ハンドルを回し風を起こしての仕分けは、風圧を一定に保つのが難しく、作業は思うように捗らない。改めて昔のお百姓さんの苦労と大変さを実感。

このままでは日が暮れてしまうので、自走式脱穀機の登場です。稲藁の白煙飛び散る中、子どもたちが楽しそうに走り回る

脱穀作業は1時間余りで終了。籾の収穫はうるち米ともち米合せて約180キロ。次の玄米にする籾摺りと五分搗き精米の過程を経て、何キロ穫れるか楽しみです。佐須の農家の脱穀もあと一軒を残すのみ。稲の切り株がさびしそうな田んぼはすでに冬支度の気配。(受講生兼通信員 中原)

自走式脱穀機



足踏み式脱穀機



唐箕



籾摺り機



手動籾摺り

● こどもエコクラブ野鳥と自然調べ

日 時：12月14日(土) 9時30分～12時
 集合場所：京王多摩川駅
 解散場所：多摩川市民広場
 持ち物：水筒・筆記用具・図鑑・虫眼鏡・双眼鏡
 その他：雨天中止 申込み不要現地へ直接
 冬の多摩川には多くの野鳥が飛来しています。君は何種類の野鳥に出会えるかな？川岸には色々な植物も生えています。身近な多摩川を観察しよう。

● 野川クリーン作戦に参加しませんか

日 時：12月7日(土) 14時～15時
 集合場所：野川 中耕地橋・大橋・中島橋
 解散場所：集合場所と同じ
 その他：雨天中止・申込み不要直接現地へ
 野川の清掃活動を行います。

重要！● ちょうふ環境市民懇談会 全体会のお知らせ

日 時：2月8日(土) 13時～
 場 所：市民センター4階 第2・3集会室

● 入間・樹林の会活動日

日 時：12月15日(日) 11時～
 集合場所：入間地域福祉センター
 持ち物：筆記用具・お椀・はし・コップ・ご飯
 費用：300円程度 その他：動きやすい格好で
 今年度の振り返りやこれからの活動についての話しをしながら、入間町1丁目崖線樹林地で豚汁を食べましょう！初めての方も参加OKです！

● 野川・里山探検隊サポーター募集

日 時：12月23日(祝) 13時～16時
 野川・里山探検隊(小・中学生対象)で春の七草の寄せ植えを行います。
 その他：要申込み
 子どもたちの活動のサポートをしてくれる高校生以上の方を募集しています。

※今年度の活動報告などを実施する予定です。
 みなさん予定をあけておいてください！

グループ紹介 その6

野川で遊ぶまちづくりの会

① 目的

調布市内を流れる多摩川の支流「野川」で、「遊び」を通して「まちづくり」に貢献することが目的です。具体的な夢としては、野川を子供がいつでも泳げる川にすることです。

② 設立の経緯

1991年2月、野川のあり方にそれぞれの思いを持った調布在住の3人(尾辻、依田、内藤)が、調布にも野川をよくするための会を作ろうと語り合い、始めることになりました。きっかけは、東京都の中小河川を対象にした「いこいの水辺」事業が野川で始まったことです。

③ これまでの主な活動

佐須の用水路で清掃と自然観察会(毎年4月開催)、親子で生け捕り作戦(野川で生き物調査)、親子炭焼きキャンプ(カニ山)、田んぼの学校(1993年より毎年)、会報「河原版」発行

④ これからの活動予定

上記の活動を継続するほかに佐須地区を調布の里山としてまちづくりを行うための活動もしたいと考えています。

⑤ ひと言アピール

「田んぼの学校」では、自分で米作りができるようになるための全行程を習得してもらえるようにカリキュラムを組んでいます。自給自足を考えている方、是非体験してください。

⑥ 問合せ先

連絡先：尾辻 義和
 住 所：〒182-0014 東京都調布市柴崎2-18-23
 TEL：0424-87-4385
 e-mail：kp5y-otj@asahi-net.or.jp
 URL：<http://www.asahi-net.or.jp/~kp5y-otj/>

＜会議のスケジュール＞

日時	場所	活動名/内容
12月2日(月) 18:30～20:30	市役所3階 第1会議室	環境モニター 連絡会
12月11日(水) 18:30～20:30	市役所6階 図書教養室	環境市民懇談会 連絡会議
12月13日(金) 18:30～20:30	市役所8階 第8会議室	雑木林塾 運営会議
12月16日(月) 13:30～16:30	市役所3階 消費者コーナー	ニュースレター 編集作業
12月24日(火) 13:30～15:30	市役所6階 図書教養室	ニュースレター 発送作業

紙面の都合上詳しい情報を掲載することができません。イベント等の詳細についてはお気軽に下記へお問い合わせください。
 ちょうふ環境市民懇談会では、日常的に情報の交換を行うためにメーリングリストを立ち上げました。
 お問い合わせは尾辻(e-mail：kp5y-otj@asahi-net.or.jp)まで。

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問い合わせ先：調布市環境部環境保全課 (荒井・倉林)
 TEL：0424-81-7086

E-mail：kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会